

# 「やまぐちものづくり」環境・医療 イノベーション創出地域

瀬戸内コンビナートで育まれた「せとうち・ものづくり技術基盤」を活かした次世代産業の育成・集積

**参画機関** (太字はプログラム実施機関)

産…山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会ほか  
学…山口大学、山口東京理科大学、山口県立大学  
官…山口県、山口県産業技術センター、やまぐち産業振興財団  
金…山口銀行、西京銀行、日本政策投資銀行

## 地域イノベーション戦略

石油・石炭化学コンビナートを中心に育んできた山口県特有の「せとうち・ものづくり技術基盤(ケミストリー、部材・素材、中小ものづくり技術)」を、これらと親和性のある「環境・エネルギー」及び「医療関連」分野に活用し、新たな成長産業の育成・集積を図ります。産学公金が一体となって、域外からの情報・人材・投資等呼び込み、共同研究開発、内発展開、企業誘致等を誘発することにより、持続的なイノベーションを創出します。



プロジェクトディレクター  
**東 正信**

略歴：昭和61年(株)トクヤマ入社。藤沢研究所、つくば研究所、研究開発企画グループGLを経て、平成25年山口県産業技術センターに転出。現在に至る。博士(工学)。

「ケミストリーによるイノベーション」それは、全国有数の化学コンビナートが立地する山口地域ならではの成せる業です。異分野／業種連携、地域内外広域連携によって地域の強みをより強くする戦略手法によりイノベーション創出を加速します。そして、地域で育成した人材が地域に魅力を感じ定着し、地域に新たな産業を興して地域を豊かにします。本イノベーション創出活動を通して、この様な流れが自発的に起こることを目指します。

## 事業の内容

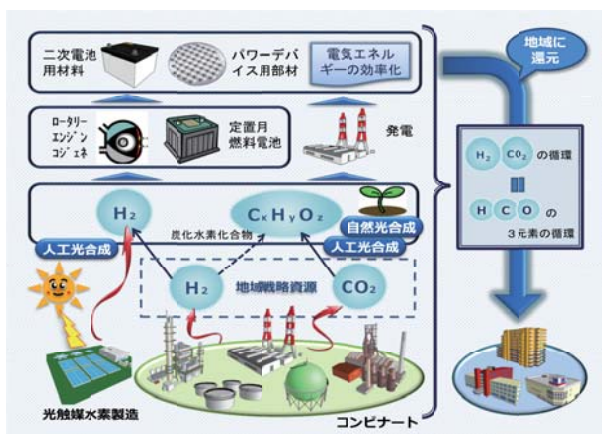
### 【全体計画及び成果】

#### <テーマ>

コンビナート資源に着目した「地域エネルギー」の創造・循環によるイノベーション創出と関連産業育成・集積

#### <概要>

瀬戸内コンビナート由来の「水素」と「二酸化炭素」を地域戦略資源と捉えるとともに、光触媒により「水素」を生成し、これらを「地域エネルギー」として創造し、人工的に循環させるマテリアル・サイクルを作り出すことにより、クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現、水素社会の到来を見据えたコンビナート地域型水素サプライチェーンモデルの構築に寄与し、もって関連産業の育成・集積を図ります。



水素・二酸化炭素のマテリアルサイクル

### 【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積 (実施機関：山口大学、山口東京理科大学)  
地域内の技術シーズを補完し、将来の地域構想を担う次世代研究者を域外から招聘します。



キックオフセミナー(平成26年11月17日開催)

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：山口大学)  
瀬戸内コンビナートを支える人材を継続的に育成・輩出するための人材育成プログラムを開発・実施します。
3. 大学等の知のネットワークの構築 (実施機関：山口県産業技術センター)  
産学公金のネットワーク形成等のためプロジェクトディレクターとコーディネータを配置します。
4. 地域の大学等研究機関等での研究設備・機器等の共用化 (実施機関：山口大学)  
JST拠点整備機器の利用支援を行うスタッフを配置します。